日立電気温水器　取扱説明書

ご愛用の皆さまへ

このたびは日立電気温水器をお買いあげいただきありがとうございます。
本品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくため、この取扱説明書は
「ご使用の前にまずお読みになり十分理解した上、正しく取り扱ってください」
「お読みになった後、いつでも取り出せるように大切に保管してください」
万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お手入れのときにきっとお役に立ちます。

用　途

本製品は、深夜電力で夜間お湯を沸きあげ、飲用を除く給湯用に使用するものです。
上記用途以外に使用される場合の保証はできません。
（注）塩分・石灰分・イオウ分・その他の不純物を多く含有している水質のとき、または純水、イオン交換水の場合は温水器を使用しないでください。

8時間通電制御型

★リモコンレスタイプ

型式

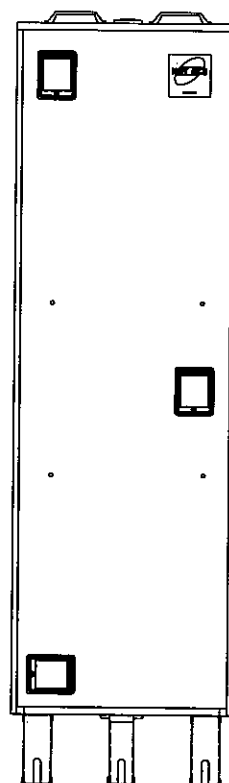
BE−Z37A，Z37ABL

BE−Z46A，Z46ABL

型式末尾の記号

BL；BL認定品

HITACHI

Z142114

安全上のご注意

＊　ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊　ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
絵表示の例
△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

＊　お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

	●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
	●アース工事がされているか確認してください。 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
	●前面カバーは開けないでください。 感電の恐れがあります。
	●温水器の近くにガス類や引火物を置かないでください。 発火することがあります。
	●漏電遮断器の動作を確認してください。 漏電遮断器が故障のまま使用すると漏電のときに感電する恐れがあります。
	●給湯時は給湯カランに手を触れないでください。(最高90℃) やけどをすることがあります。
	●給湯・排水時は熱湯が出る恐れがあります。やけどに注意してください。（最高90℃）
	●逃し弁点検時は、逃し弁排水管に手を触れないでください。 やけどをすることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

●飲用はしないでください。
水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわすことがあります。

●タンクの熱湯排水は直接しないでください。
やけどをすることがあります。

●電源ボックスカバーは閉じておいてください。
ショート・感電することがあります。

●通電はタンクを満水にしてから行ってください。
過熱することがあります。

●逃し弁の点検をしてください。
配管漏れにより、やけどをすることがあります。

●１カ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をしてください。
水質が変化することがあります。

●凍結防止対策の確認をしてください。
配管が破裂してやけどをすることがあります。
機器が凍結し、破損することがあります。

●脚がアンカーボルトで固定してあるか確認してください。
本体が倒れてけがをすることがあります。

●床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

目　次

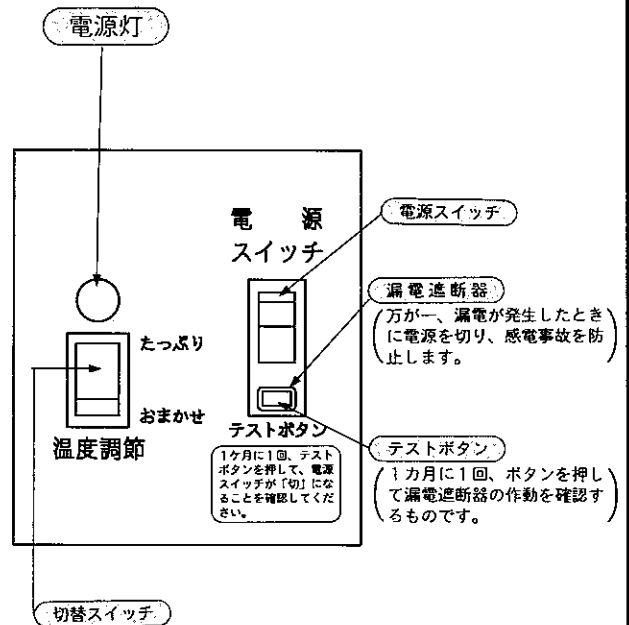
1. 各部の名称と働き

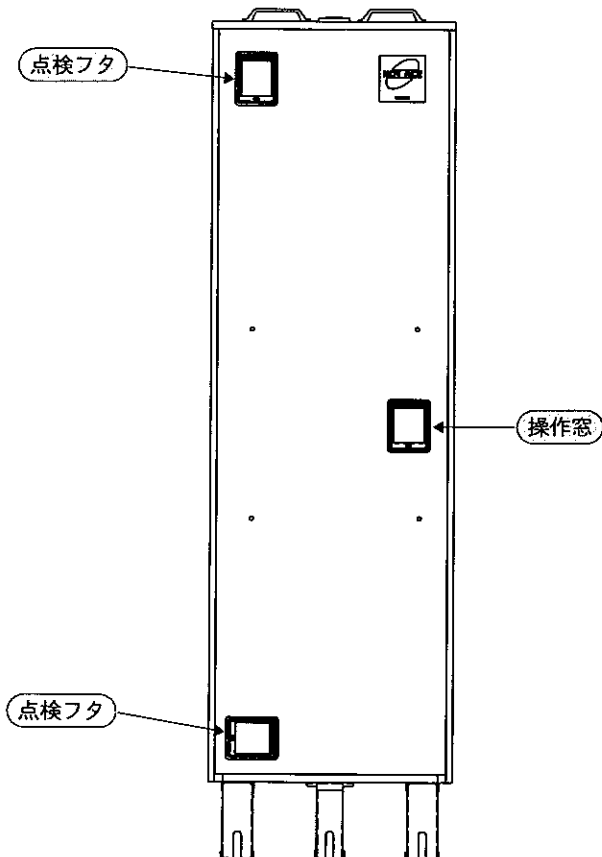
電気温水器とは

- タンク内に貯えた水を深夜電力を利用し、夜間に沸き上げる装置です。
- 定められた温度までお湯が沸きますと、自動温度調節器が作動し、沸き上げを停止します。
- タンク内は一定の水圧に調節されています。
  ご使用の際はタンク下部より給水され、タンク内のお湯を押し上げて給湯カランより給湯します。したがって給水は自動的に行われ、タンク内は常に満水状態です。

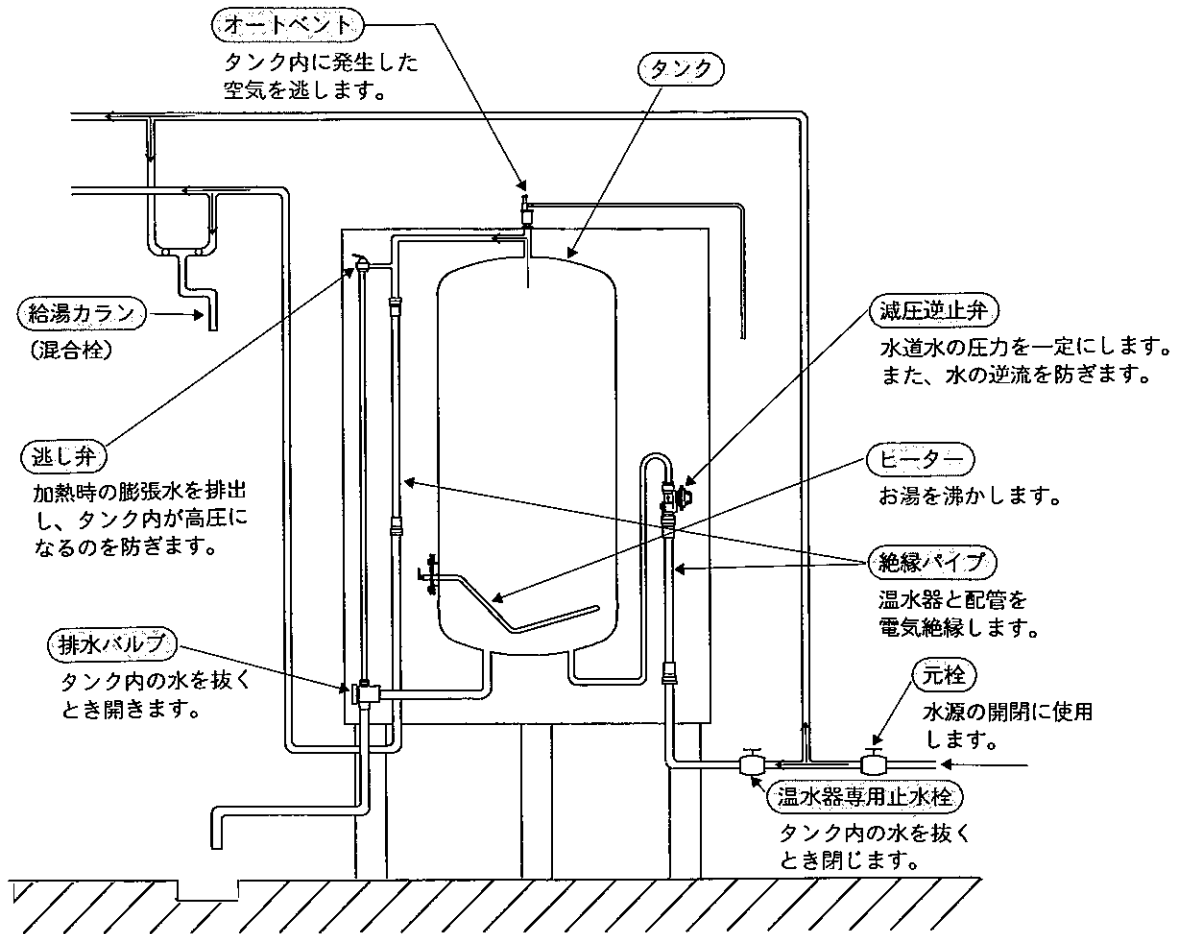
付属品

- 保証書×1
- 工事説明書×1
- 取扱説明書×1
- アンカー用型紙×1
- 転倒防止金具×1

操作カバー内部

ご注意

本製品は、別売のリモコンの接続が可能です。
別売リモコン（ＢＥＲ－３Ａ）を接続して使用する場合の操作は、主にリモコンで行います。(詳しくはリモコンの取扱説明書をお読みください。)
この場合、本体側操作部では、「電源スイッチ」と「テストボタン」のみが操作でき、その他の操作はできませんのでご注意ください。

(注) 操作部 各部の名称と働きについては、「4.温度調節の方法」で説明しますので参照ください。

1. 各部の名称と働き(つづき)

配管システム

㈱ 絶縁パイプ、オートベントは水道局の指定により、取り付けないことがあります。

2. 使用上の注意

特に注意していただきたいこと

⚠注意　そのまま飲用しないでください。

電気温水器は、清潔に造られていますが、長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

⚠警告　　温水器の近くに、ガス類や引火物を置かないでください。

発火の恐れがあります。

⚠注意　❗　温水器が足場のしっかりした場所、かつ、万一の水漏れの場合にも支障のない場所（床面が防水、排水処理されている場所）にアンカーボルトで固定してあるか確認してください。

製品の脚部が床面に固定されてないと、地震により転倒したり配管が破損して漏水する恐れがあります。また、水漏れ時支障のある場所へ設置されると二次災害の原因となります。

⚠注意　❗　タンク内が空のときは、電源スイッチを「入（ON）」にしないでください。

空だきの危険があります。
万一、空だきをした場合、部品の交換が必要となります。

⚠警告　アース工事がされているか確認してください。

アース工事がされていないと、感電事故の危険が生じます。（工事説明書「アース工事」参照）

⚠警告　　製品正面の前面カバーは絶対に取り外さないでください。

内部の電気部品にふれると感電することがあります。

⚠警告　お客様ご自身による製品の改造は絶対になさらないでください。

製品を改造したりしますと、安全性が確保できないだけでなく、機能を十分に発揮できなくなります。改造してご使用の場合の保証はできません。

⚠注意　　長時間（1カ月以上）使用しない場合は、
①タンク内の水を完全に抜いてください。
②電源スイッチを「切（OFF）」にしておいてください。

水質の変化や凍結防止のためです。

2. 使用上の注意（つづき）

⚠警告　やけどにご注意ください。

混合栓を操作（先ず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開く）して、お湯を適温に調節してからお使いください。
お湯だけで使用しますと、やけどをしたり、流し台をいためる場合があります。

●給湯カランは、湯水混合栓(混合栓)を使用してください。特に浴室では、サーモスタット(温度調節)付をおすすめします。

●初めは生ぬるいお湯が出ますが、これは配管中に残っていた水が出るためですので、そのままお湯を出してください。すぐに熱いお湯が出てきます。このときやけどをしないように注意してください。

●小さいお子様、お年寄の方が一人で使用する場合は、まわりの方が注意してください。
特にシャワーを使用する場合、水を混合しないでお湯だけで使用しますと、やけどをします。

●お湯を使用しているときは、給湯カランが熱くなっていますから、やけどにご注意ください。

●オートベントが動作しないときには、給湯カランから空気が吹出し、お湯が飛び散る場合があります。
この場合は、修理が必要です。販売店に連絡してください。

●排水時はお湯に手を触れないでください。タンク内に熱いお湯が残っているとやけどをします。

●逃し弁点検時は逃し弁排水管に手を触れないでください。配管も熱くなっています。

■その他

●温度調節を「おまかせ」に設定した場合、過去のお湯の使用量が少ないと翌日の沸き上げ温度が低くなります。
沸き上げ温度を高くしたい場合には、「たっぷり」に設定してお使いください。
（7 ページ「温度調節の方法」を参照してください。）

●給水温度が低く残湯量が少ない場合、温度調節器が作動して停止する前に通電が停止し、設定温度に沸き上がらないことがあります。

●沸き上げ温度は、沸き上げ直後のタンク内温水温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。
また給湯カランから出るお湯は配管の放熱によって、設定温度より低くなります。

●お湯のむだ使いにご注意ください。
1日に使用できる湯量は限られています。一度に多量のお湯を使用しますと、湯量不足の原因となります。次のような、お湯の使い方には注意してください。
・入浴ごとに、お湯を入れかえる。
・食器洗いや、洗濯などで、お湯を流し続ける。
・夜の11時以降にお湯を使いますと、翌日のお湯の温度が低くなることがあります。
・早朝、お湯を使用しますと、十分に沸き上がらないことがあります。

●万一、火災発生のときには、電源ブレーカを「切（OFF)」にしてください。

3. ご使用の方法

ご使用前の確認

1 設置工事は工事店が行いますが、ご使用前に「工事説明書」に従って、お買い上げの販売店・工事店等と立会って、ご確認ください。ご不審な点がございましたら、お買い上げの販売店、または工事店にお問い合わせください。

配管の流し洗い

2 最初にご使用になるとき、湯や水に油が浮いたり、においがしたりすることがあります。これは、配管工事のとき使用した油が残ることが原因です。この場合、湯や水を十分だして油やにおいをとってください。

温水器への給水

3 2ページの図を参考に、下記の順序で給水を行ってください。
(満水までに約20～30分かかります。)

①排水栓を閉じてください。
②給湯カラン(混合栓のお湯側)を開いてください。
③元栓および温水器専用止水せんを開いてください。
(満水になると、給湯カランから水が出てきます。)
④給湯カランを閉じてください。

ご注意

●元栓・温水器専用止水せんは、開いておいてください。
お湯を使ったときは自動的に給水されます。

湯沸し

4 温水器への給水が完了しましたら、電源スイッチを「入(ON)」にしてください。
タイムスイッチにより、夜になりますと電気が入り、翌朝にはお湯が沸いています。

通電のしかた

①操作カバーを開け漏電遮断器の電源スイッチ(下図参照)を「入(ON)」にしてください。
②温度調節器をセットしてください。セット方法は、7ページを参照してください。

⚠注意 ❶ 操作カバーは操作完了後必ず閉じておいてください。

操作カバーの取付が不十分ですと、雨水等の浸入により、感電や機器が故障する恐れがあります。

お湯のご使用

5 給湯カランを開くだけでお湯が出てきますので混合栓を操作(水栓を開いてから湯栓を開く)して適温に調節してからお使いください。
お湯だけで使用しますと、やけどをしたり、流し台をいためる場合があります。

3. ご使用の方法（つづき）

膨張水について

6 深夜電力通電中に逃し弁よりお湯がでますがこれは故障ではありません。水から湯になるときの膨張水を逃がすためで、正常です。

断水のとき

7 断水のときは、温水器専用止水せんおよび給湯カランを閉じておいてください。温水器専用止水せん、給湯カランが開いていると再度送水されたとき、タンク内のお湯が全部出てしまいます。

ご注意

●中高層集合住宅で高架水槽の清掃などで断水の連絡があった時にはすみやかに電気温水器給水側の温水器専用止水せんを閉めてください。そのまま放置されますと上層階からお湯が逆流したり、異常水圧(負圧)により缶体が破損します。十分注意してください。

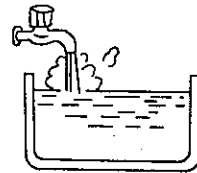
その他

8
●一階に温水器を設置した場合、二階でのシャワー給湯はできませんのでご注意ください。(お湯の量が少なくなります)
●全自動洗濯機に直接給湯配管することは、できません。
●サーモスタット式シャワーセットを使用する場合、シャワーセットの構造により出湯量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して、販売店、工事店とご相談のうえ選定してください。

お湯の上手な使い方

一日に使用できる湯量は限りがあります。
特に冬期は水温も低くムダな使い方をしますと湯量不足になりますから上手に使いましょう。

●お湯の流し洗いはやめ、容器に受けてから使いましょう。

●お風呂に給湯するときは、湯をあふれさせないように注意してください。
●お風呂がぬるくなって、さし湯をされるとき、お湯があふれるおそれがある場合は、お風呂のお湯を少し抜いてからさし湯をしてください。

●入浴のしかたが湯量不足の原因になります。
　●毎回お湯を入れかえる。
　●朝夕２回入浴する。
　●来客等でいつもより入浴人数が多い。

このような場合は湯量不足になりますのでご注意ください。また、入浴は続けて入りましょう。入らないときはきちんとお風呂のフタをしましょう。

●深夜電力通電中にお湯を使用しますと、翌日の湯温が低くなることがあります。同様に早朝にお湯を使用すると十分に沸き上がらないことがあります。
●無駄なお湯を沸かさないようにすると経済的です。お湯の使用量に見合った温度調節をしてください。
●温度調節は、翌日のお湯の使用量を考えて設定してください。
温度調節方法は 7 ページの「温度調節の方法」を参照してください。

4. 温度調節の方法

操作部各部の名称と働き

別売リモコン（BER－３Ａ）をご使用の場合は、リモコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意

別売リモコン（ＢＥＲ－３Ａ）を接続して使用する場合、本体側では操作できません。この場合リモコン側で操作しますので、ご注意ください。
詳しくは、リモコンの取扱説明書をお読みください。

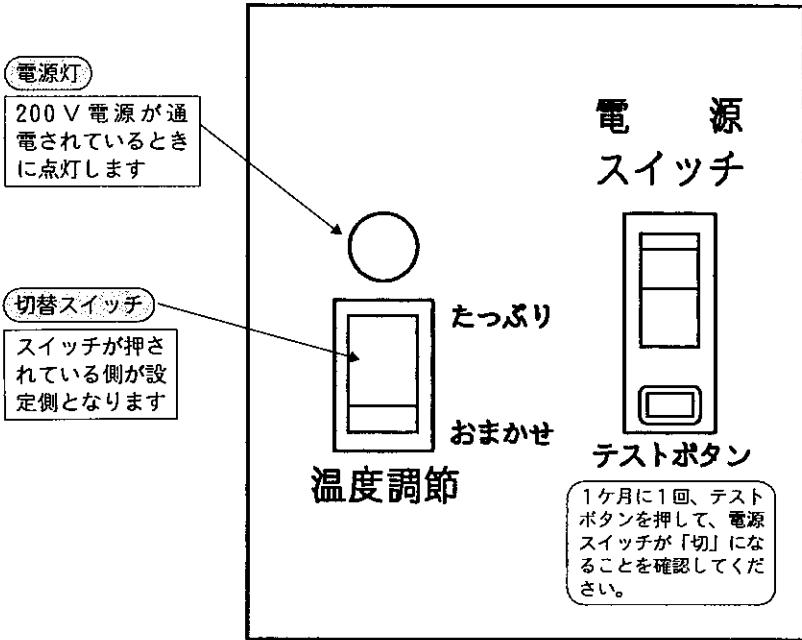
●沸き上げ湯温は２種類の設定ができます。
●初めてお使いになるときは、「たっぷり」に設定されています。

切替スイッチ

たっぷり
約90℃に沸き上げます。

おまかせ（自動温度設定）
過去の使用湯量から翌日の使用湯量を予測し、約65～90℃に沸き上げます。

上手な使い方

●「おまかせ」設定で運転し、毎日の使用湯量がほぼ一定していると、維持費の節約ができます。
●来客などで使用湯量が急増する場合や熱いお湯が必要なときなどは、前日に切替スイッチを「たっぷり」に設定しておいてください。

ご使用の方法

1．電気温水器への給水が完了しましたら、電気温水器の漏電遮断器の電源スイッチを「入（ON)」にしてください。
2．温度切替スイッチを「たっぷり」または「おまかせ」のいずれかに切り替えて、設定してください。
3．以上でセット完了です。夜になり、深夜電力が通電されますと、運転が開始されます。

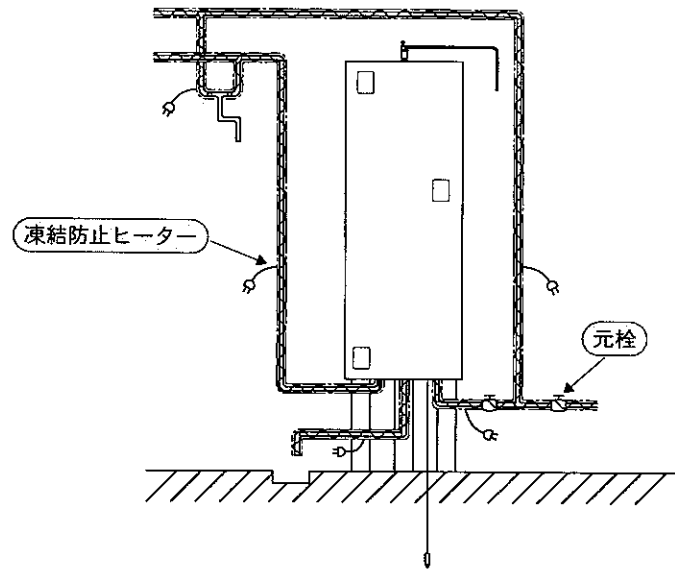
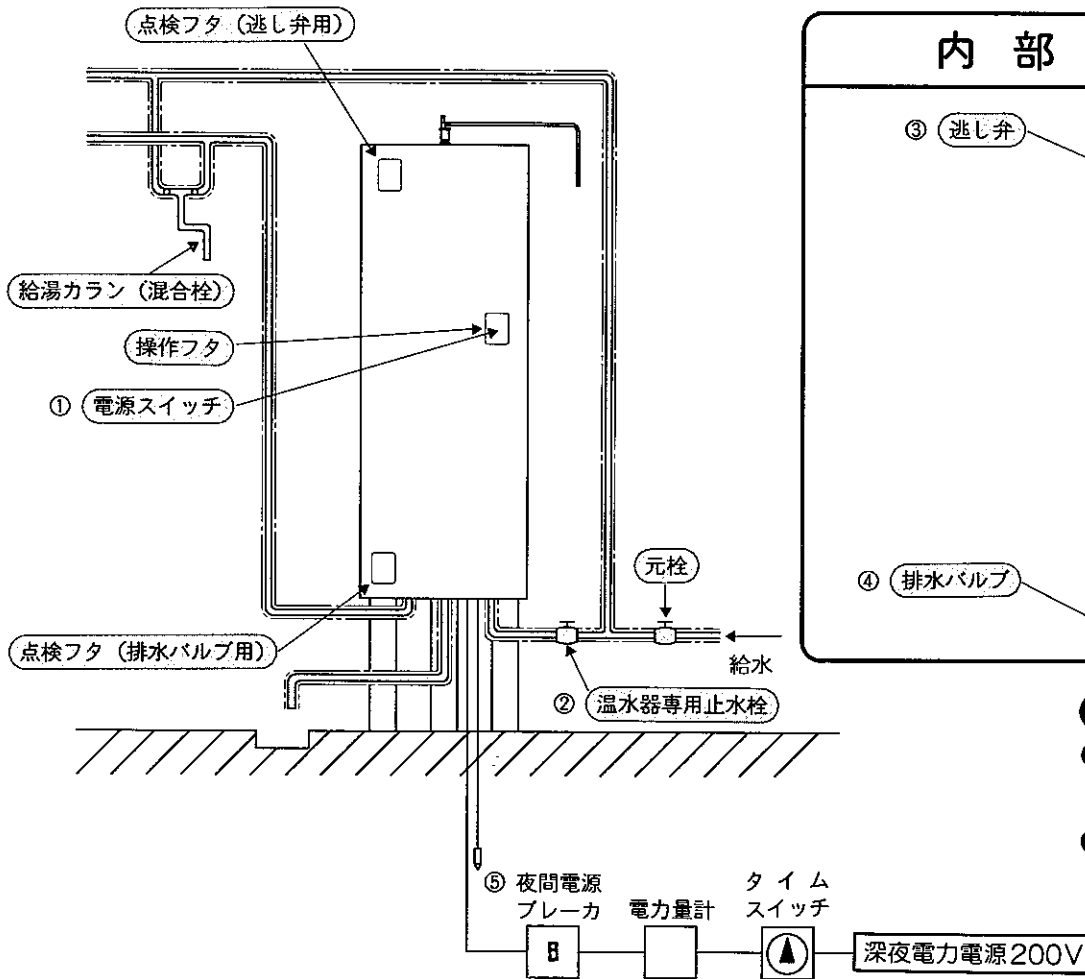
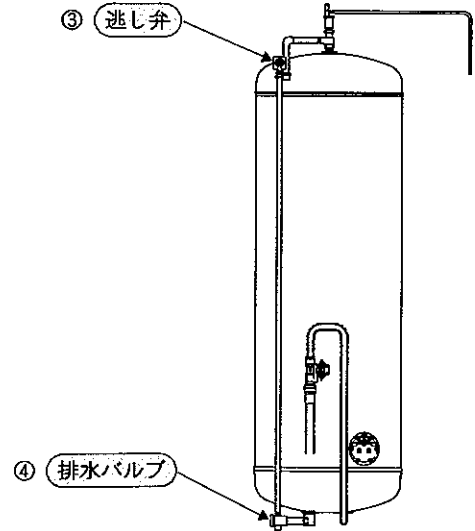
ご注意

- 「おまかせ」に設定した場合、過去のお湯の使用量が少ないと翌日の沸き上げ温度が低くなります。
- 設定した湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。
  また給湯カランから出るお湯は配管の放熱によって、設定温度より低くなります。
- 厳寒期や残湯量が少なく給水温度が低い(15℃以下)ときは、90℃まで沸き上がらない場合があります。

5. 凍　結　防　止

冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。配管が凍結すると電気温水器が使えないばかりか、減圧逆止弁・逃し弁の破損、場合によってはタンクが破壊することも考えられます。設備工事の方法を工事業者に確認の上、下記の防止方法の操作手順によって凍結防止をしてください。

凍結防止ヒーターを巻く方法

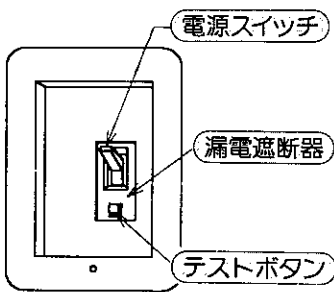
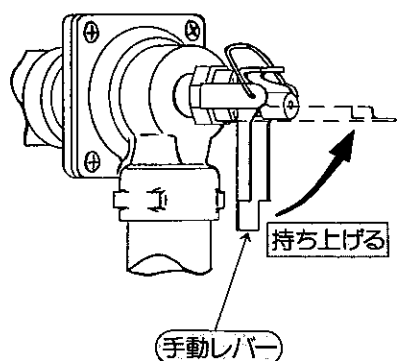
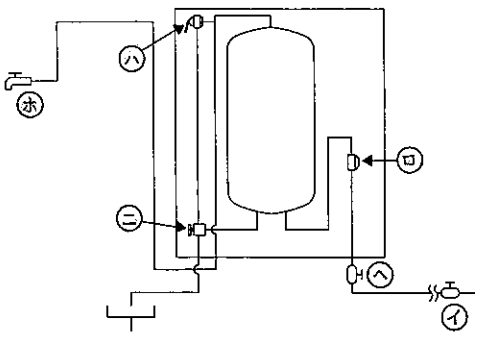
- ●凍結するおそれのある配管各部に凍結防止ヒーターを巻き、通電によって凍結を防止する方法です。
- ●寒冷時には凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

6．配管工事例（減圧弁方式）

ご注意

●各地方の水道局の指導により異なる場合があります。

●屋内据付の場合、床面は完全な防水、排水工事が必要です。

7．長期間運転を停止するとき

上図を参考に、操作フタ，点検フタ（逃し弁用，排水バルブ用）を外して操作してください。

●1カ月以上の長期間使用しないとき

1．温水器の電源スイッチ①と夜間電源ブレーカ⑤を「切（OFF)」にしてください。

2．温水器専用止水栓②を閉じてください。

3．逃し弁③のレバーを上げてください。

4．排水バルブ④を開いてください。

（注）熱いお湯をたくさん流すと排水管を損傷する恐れがありますので、水で薄めるなどご注意ください。

5．排水が終わりましたら逃し弁③のレバーを下げてください。

6．排水バルブ④を閉じてください。

7．再びご使用になるときは、5 ページ「ご使用の方法」の項に準じてください。

必ず、タンクを満水にしてから電源スイッチを「入（ON)」にしてください。

●1カ月以内の比較的短期間使用しないとき

1．温水器の電源スイッチ①を「切（OFF)」にしてください。

2．温水器専用止水栓②を閉じてください。

（注）凍結のおそれのあるときは、1カ月以内の使用しない時でも左記の項に準じてください。

3．再びご使用になるときは、タンク内の水を入れかえてご使用ください。

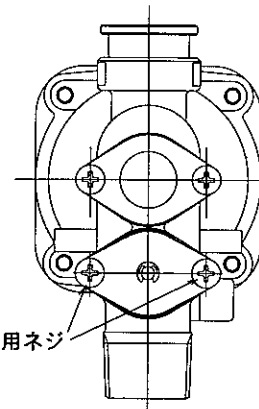
（11 ページ「各部の点検とお手入れ」の「タンク内の掃除」の項参照。）

8．各部の点検とお手入れ

１項・２項・４項は必ず実施してください。

No.	項目	時期	点検・お手入れ
1	⚠警告 ❗ 漏電遮断器の確認	１カ月に １回	①　深夜電力通電中に温水器の操作カバーを開けてください。 ②　テストボタンを押して、電源スイッチが「切（OFF)」になることを確かめてください。 ③　動作確認後、必ず電源スイッチを「入（ON)」に戻してください。 ④　操作カバーを閉じてください。 閉じ方が不完全ですと雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。
2	⚠注意 ❗ 逃し弁の点検	１カ月に １回	①　逃し弁点検窓を開けてください。 ②　逃し弁の手動レバーを持ち上げて、排水することを確かめてください。 （この操作を怠りますと、湯あかの影響により逃し弁の機能が低下し、温水器の安全を確保することができなくなることがあります。） ③　レバーを元に戻しても水が漏れて止まらないときは、ゴミを噛んでおります。 レバーを上げて、ゴミを流してください。 ④　確認後は、逃し弁点検窓を閉じてください。 閉じ方が不完全ですと、雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。 ※逃し弁レバー操作時に逃し弁が少し動きますが異常ではありません。
3	タンク内の掃除 （使用中タンク内底部に湯あかや沈でん物がたまりますので掃除してください。）	１カ月に １回	排水栓㊁を開けて約２分間排水してください。 この場合、お湯が出てくることがありますので、やけどをしないように注意してください。
		半年に１回 （お湯を使い終わった時に掃除しますとお湯がムダになりません。）	①　操作カバーを開けてください。 ②　電源スイッチを「切（OFF)」にしてください。 ③　点検カバーを開けてください。 ④　温水器専用止水せん㋬を閉じてください。 ⑤　給湯カラン㋭を開けてください。 ⑥　逃し弁点検窓を開けてください。 ⑦　逃し弁㋩の手動レバーを押し上げてタンク内に空気が入るようにしてください。 ⑧　排水栓㊁を開け、タンク内の水をすべて排水してください。 （約75〜85分間かかります。） ⑨　水ににごりがなくなるまで、給水・排水をくり返してください。 この場合、お湯が出てくることがありますので、やけどをしないように注意してください。

8．各部の点検とお手入れ（つづき）

No.	項　目	時　期	点　検　・　お　手　入　れ
3	タンク内の掃　除（つづき）		⑩　排水栓㊁を閉じてください。 ⑪　逃し弁㋬のレバーを元に戻してください。 ⑫　温水器専用止水せん㋩を開いてください。 ⑬　給湯カラン㋭から水が出始めたのち、給湯カラン㋭を閉じてください。 ⑭　点検カバーを閉じてください。 ⑮　逃し弁点検窓を閉じてください。 ⑯　電源スイッチを「入（ON)」にしてください。 ⑰　操作カバーを閉じてください。
4	水漏れ確認	1カ月に1～2回	①　本体周り、配管からの水漏れがないことを確認してください。 ②　中高層集合住宅用は、ドレンパンからも水漏れのないことを確認してください。また、ドレンホースから水が出ていないことを確認してください。
5	ストレーナの清掃	必要時（お湯の出る量が少なくなった時）	本点検は、機内の点検になりますので、お買い求めのお店に依頼してください。(有料です) ①　元栓㋑を閉じてください。 ②　減圧逆止弁㋺のストレーナ用ネジをプラスドライバーではずし、中のアミを洗います。 ③　アミとフタを元通りに組みこんでください。 ④　元栓㋑を開けてください。 ストレーナ用ネジ
6	温水器表面のお手入れ	汚れたとき	①　汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめてふくませ軽く絞ってふいてください。 洗剤使用後は、布をよく水洗いし、固く絞ってから洗剤をふきとってください。 ②　シンナーなどの溶剤の使用は、塗装面をいためますので、使用しないでください。

ご注意

排水栓からの排水は、必ず排水溝（排水管）に水が溜まらないことを確認しながら、排水栓にて流量を調節して行ってください。
排水溝（排水管）の排水能力が不充分な場合、排水があふれ出る恐れがあります。

●逃し弁・オートベント・減圧逆止弁は消耗品です。劣化により水漏れすることがありますので点検により不具合があった場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ交換してください。

9．調子がよくないとき

お湯が沸かない（湯温が低い）とき

1 まず、次のことをお調べになってください。その上でなお異常があるとき、および下記以外にも異常があるときは、お買い上げの販売店または、工事店にご連絡ください。

(1) 夜間電源ブレーカが切れていませんか。
(2) 電源スイッチが切れていませんか。
(3) 夜間の通電中に停電はありませんでしたか。
(4) 夜間の通電時間中に多量のお湯を使用していませんか。
(5) 温度切替スイッチを「おまかせ」で使用していませんか。
「おまかせ」での使用の場合、過去のお湯の使用量が少ないと自動的に沸き上げ温度が低くなります。
(6) 運転休止の設定になっていませんか。（リモコン〈ＢＥＲ－３Ａ〉使用時）

お湯が沸騰するとき

2 このときは、自動温度調節器が故障していますので、お買い上げの販売店または、工事店に連絡して、修理または部品交換を行ってください。

（14ページの「サービスが必要なとき」の項に基づき、型式名や故障の状況など必要なサービスの内容をできるだけ詳しくお知らせください。）

10．保守点検について

＜保守点検契約のおすすめ＞

●電気温水器は常にその性能を十分に発揮させるために、正しい使い方と同時に定期的な保守点検が必要です。故障がおきてからの修理では、大変な経費と時間が必要になります。
そこで当社は保守点検契約をおすすめします。
●保守点検契約についての詳細は販売店または工事店にご相談ください。

●故障・点検・修理などの連絡先
販売店・工事店の名称、住所、電話番号

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名 または 工事店名	
	☎

お客様へ……おぼえのため、ご購入月日、ご購入店名または工事店名を記入されると便利です。

11. 保証・アフターサービス

保証書について

1

この商品は保証書付です。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

2

保証期間は、お買い上げの日から１年です。なお保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
また、製品の故障に起因した営業補償等の二次補償はいたしません。
保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

サービスが必要なとき

3

故障その他でサービスが必要なときは、お買い上げの販売店または 16 ページのサービスエンジニアリングセンターにご連絡ください。その際、つぎのことにご注意ください。

(1) 型式名（保証書に記入してあります）と据付時期をお知らせください。
(2) 故障の状況や必要なサービスの内容をできるだけ詳しくお知らせください。
(3) 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

部品保有期間

4

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後８年です。
性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用部品を販売店に供給します。

ＢＬ認定品の保証期間と部品保有期間について

5

●ＢＬ認定品（型式の末尾にＢＬのあるもの）の保証期間は
本体……………………２年です。
発熱体（ヒーター）…３年です。
●補修用性能部品の部品保有期間は、製造打切後10年です。

ご注意

●製品を移設する場合は、専門の技術が必要です。必ずお買い求めの販売店または、工事店へお問い合わせください。
●製品を長年お使いになった後、廃棄される場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

12. 仕　　様

			リモコンレスタイプ	
型式名	戸建住宅用		BE－Z37A	BE－Z46A
	防雨型		BE－Z37ABL	BE－Z46ABL
外形寸法	高さ	mm	1846	2176
	幅	mm	625	
	奥行	mm	730	
電源	ヒーター用電源	—	単相200V，50/60Hz	
消費電力	ヒーター用	kW	4.4	5.4
タンク容量		ℓ	370	460
沸き上がり温度		℃	約65～約90	
質量	製品	kg	65	75
	満水時	kg	435	535

注1．型式の末尾の記号「ＢＬ」は、ＢＬ認定[*1)]品です。
注2．本製品は、別売のリモコン（ＢＥＲ－３Ａ）を接続して使用することができます。詳しくは、お買上げの店にご相談ください。

＊1）ＢＬ認定とは、優れた住宅機器に与えられるものです。

サービスエンジニアリングセンター

●東京サービスエンジニアリングセンター：〒135-0016 東京都江東区東陽5-29-17(住友不動産東陽ビル)
(03)3649-2111

●横浜サービスエンジニアリングセンター：〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町822-10
(グレイスビル)
(045)985-5422

●埼玉サービスエンジニアリングセンター：〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町2-87-1
(大宮MKビル)
(048)652-9767

●関西サービスエンジニアリングセンター：〒532-0022 大阪市淀川区野中南2-11-27
(06)6303-6156

●京都サービスエンジニアリングセンター：〒615-0824 京都市右京区西京極畑田町55-2
(075)315-4115

●兵庫サービスエンジニアリングセンター：〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通2-3-18
(神戸木材会館)
(078)575-8431

●中部サービスエンジニアリングセンター：〒485-0072 愛知県小牧市元町4-66
(0568)72-0131

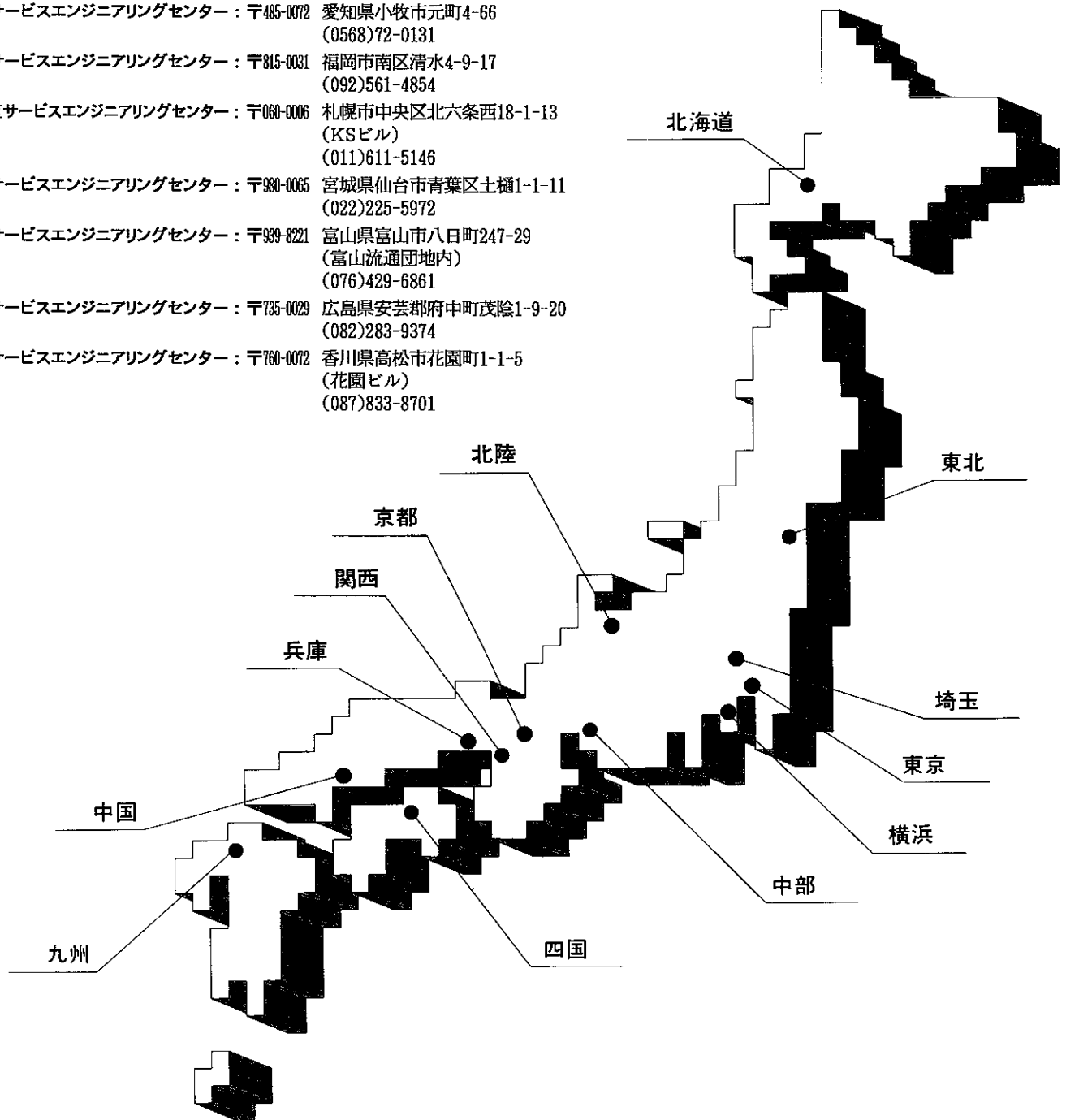
●九州サービスエンジニアリングセンター：〒815-0031 福岡市南区清水4-9-17
(092)561-4854

●北海道サービスエンジニアリングセンター：〒060-0006 札幌市中央区北六条西18-1-13
(KSビル)
(011)611-5146

●東北サービスエンジニアリングセンター：〒980-0065 宮城県仙台市青葉区土樋1-1-11
(022)225-5972

●北陸サービスエンジニアリングセンター：〒939-8221 富山県富山市八日町247-29
(富山流通団地内)
(076)429-6861

●中国サービスエンジニアリングセンター：〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰1-9-20
(082)283-9374

●四国サービスエンジニアリングセンター：〒760-0072 香川県高松市花園町1-1-5
(花園ビル)
(087)833-8701

住所、電話番号等が変わる場合があります。ご了承ください。